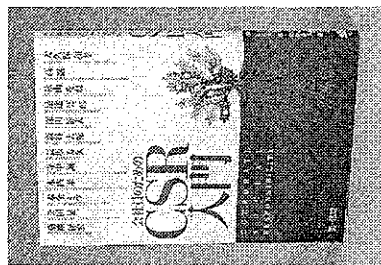


企業の不祥事が相次いでいる。名の知れた大企業や老舗の経営者がテレビの記者会見で深々と謝罪しているのを見ても何か釈然としない。

このような事態とした経済・社会状況において、今もとても注目されている概念のひとつが、「CSR／コンプライアンス」である。本書は、企業関係者ばかりでなく、NPO団体など、社会の動きに関心のある方にはぜひ読んでほしい一冊である。

CSRは企業の社会的責任、コンプライアンスは法令順守と訳されている。平たく言えば、CSRとは社会の要請に企業がどう対応するか、その有り様の根幹を成す企業倫理にかかわるものであり、コンプライアンスとはその具体的な行動である。相次ぐ企業の不祥事は、社会とのつながりを忘れて利益追求に走った結果であるといえよう。

本書は、琉球大学法文学部・観光産業科学部で提供された寄付講義「CSR／コンプライア



(第一法規・1714円)

全社員のためのCSR入門

大久保 和孝ほか著

企業倫理の仕組み平易に

ン」の講義録を初心者向けに編集したものであり、文章が平易で非常に読みやすい。構成は

「CSRの基本的な仕組み」、「企業と社会とのつながり」、「社員一人ひとりとCSR」、「事例研究」となっているが、それぞれ独立した講義なのでここから読み始めても構わない。

執筆者は、企業経営者OB、実務家、研究者として第一線で活躍しておられる方々である。国際的にも豊富なキャリアをもち、かつ社会改革の志高い方々であるだけに、内容は読みたえがある。お名前を掲載順に列挙したい。大久保和孝、高藤秋山をね、足達英二郎、深田静夫、新谷大輔、長坂寿久、寺中誠、木内孝、木金ミシ、金田晃一、菊地保宏(敬称、所属略)。

本書のベースとなった寄付講義は、アジアを視野に入れた沖縄からの情報発信、国際的に活躍できる人材の育成を目的としたものである。一連の企画は著者の一人である大久保和孝氏の発案によるものであり、趣旨にご賛同いただいた企業(沖縄電力・琉球銀行・大同火災・日本総合整美・日本航空会社)からのご寄付によって実現した。記して感謝したい。

(伊波美智子・琉球大学教授)

おおくぼ・かずたか 1973年生まれ。公認会計士